

学びの広場

寄小学校的の活動 学校紹介①

町内の幼稚園2園、小学校2校、中学校2校の特色ある活動や子どもたちの活躍している姿を紹介します。
 第1回は、全校児童51人という小さな学校ですが、大きな学校に負けないくらい、元気に生き生きと活動している寄小学校です。

児童の目標「やどりきっ子」

平成25年度は元気な新入生が7人入学しました。寄小学校では子どもたちの目標として「やどりきっ子」を掲げています。
 「や」はやさしい子
 「ど」は努力する子
 「り」は理想をもとめる子
 「き」はきまりを守る子 です。
 学年の枠を超え、1年生から6年生までみんなで協力して、いろいろなことに取り組んでいます。



7人の新入生を迎え51人の児童がそろった入学式



新入生を温かく迎えました

また、地域の方のご支援をいただきながら、地域と共に歩む学校を目指しています。
 4月には1カ月間、「みやま防犯パトロール隊」の方々に1年生の下校指導で児童全員を家まで送っていただいています。子どもたちの安全を地域全体で見守っていただき感謝しています。

お迎え集会

4月19日(金)には、5・6年生の児童委員会が中心となり、新入生7人をみんなで温かく迎えるための「お迎え集会」が開かれました。1年生も始めは緊張気味に自己紹介を行っていましたが、上級生のお迎えの言葉や、みんなでゲームをしたりすることで笑顔いっぱいになり、楽しいひとときを過ごすことができました。上級生も一つずつお兄さん、お姉さんとなり、とても頼もしく思えました。

大杉あそび

学校のシンボルでもある寄神社の樹齢500年以上の大杉から名前をいただいた、縦割りグループでの活動です。グループで給食を食べたり、学校全体で遊んだりします。
 ※「縦割り」とは、同じグループに1年生から6年生まで異学年の児童が入るグループ分けのことです



中津川での水遊び
びっしょりになって遊びました

写真は24年度の「大杉あそび」の一コマです。全員水着に着替え、中津川で班対抗のゲームをした後に水遊びをしました。教師も児童もびっしょりになりながら、楽しく思いっきり遊びました。
 自然豊かな寄地区ならではの活動です。ふるさとの名木「大杉」、清流「中津川」、そして元気な「やどりきっ子」、いずれも大切にしたい寄地区の宝物です。

全校宿泊学習・校外学習

全校での校外学習を行っています。24年春には、真鶴町三ツ石海岸へ自然観察に行き、学芸員の方



三ツ石海岸では海の生きものに触れました

に海の生きものについていろいろと教えていただきました。また、「中川」政美術館では本物の芸術に触れることができました。
 秋には「足柄ふれあいの村」で全校宿泊学習を行いました。秋深い林の中で火おこし体験をしました。みんなで協力して、やっこのことで火おこしに成功したときには、大きな歓声が上がりました。その火を使って作ったカレーライスは格別においしいものでした。夜には懐中電灯の明かりだけを頼りにナイトウォークに挑戦しました。今年夏休み中に学校での宿泊を予定しています。



全校宿泊では異学年との交流が深まりました

国際交流

米国シカゴのマリー・ランゲージ・アカデミー(小・中学校)と国際交流を始めました。ビデオレターでは、それぞれの学校生活の様子や、シカゴ・寄ならではのものの紹介などを行いました。3学期にはバレンタインカードをいただいたお礼に、手作りのひな祭りのカードを一人ひとりに贈りました。

子どもたちは、海を越えたシカゴに友達がいることを誇りに思い、外国語活動の学習の励みにもなっています。



ローレイ先生との交流

福祉あつたかフェスタ

昨年6月29日(金)には、マリー・ランゲージ・アカデミーからローレイ先生が来校されました。全校児童によるお迎えの集会では「だるまさんがころんだ」で遊んだり、松田音頭と一緒に踊ったりしました。

3年生は、総合的な学習の時間などで製作した、寄の名産であるお茶を使ったクッキーと廃油を活用したせつけんを、6年生は卒業製作の陶器の箸置きや花瓶を町の「福祉あつたかフェスタ」に出品し、販売しました。
 地域の名産品を使い、また、地



笑顔で販売できました

忠魂碑(ちゅうこんひ)

当欄で取り上げる歴史的石造物としては、一番歴史が浅く、全て明治時代以降に造られたものです。
 忠魂碑は戦争で亡くなった兵士の慰霊碑ですが、厳密に言えば明治期の日露戦争以降(追記

松田の文化財探訪

「歴史的石造物」その10 町文化財保護委員 平賀康雄



寄神社入り口の忠魂碑

を含む)第二次世界大戦までの慰霊碑です。それ以前のもの(日清戦争、西南の役、戊辰戦争等のための碑)は招魂碑、表忠碑、弔魂碑など、言い方が一定しておらず、数も多くありません。
 忠魂碑として最大のものは恐らく靖国神社内に立つ、田中支隊忠魂碑(第一次大戦シベリア出兵慰霊)と思われませんが、こ

の近隣では、小田原市大久保神社脇広場に立つ忠魂碑(西南、日清、日露、第一次、第二次大戦忠霊合祀)が最大のもの(総高約8m、最大幅240cm、東郷元帥揮毫)とされています。
 当町においては、寒田神社の拝殿右側に立つもの(乃木大将揮毫の「忠魂碑」の刻字、根府川石製、総高350cm)。同じく同神社本殿左奥に「明治二七、八年之役陣亡軍人之碑(有栖川宮垂仁親王殿下揮毫の刻字、御影石製、総高650cm)」という大きな石柱があります。寄神社入り口には同じく乃木大将揮毫の「忠魂碑(総高200cm、根府川石製)、その右側には「招魂碑」という碑が立っています。なお、第二次世界大戦中によく建てられた忠霊塔(多くは石柱型)や昭和20年前後、第二次世界大戦戦没者のために全国的に建てられた慰霊塔(碑)も忠魂碑の類です。

域の方のご指導をいただきながら、丁寧に作っているので人気が高く、「毎年楽しみにしている」と声をかけてくれる人もいますほどでした。収益金の一部を町社会福祉協議会と東日本大震災の義援金に寄付をさせていただきました。